



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,682	△2.9	917	15.7	916	22.1	625	22.9
29年3月期第3四半期	14,091	2.9	793	42.3	750	46.7	509	61.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 575百万円(△32.9%) 29年3月期第3四半期 856百万円(464.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	128.48	—
29年3月期第3四半期	104.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	17,575	5,872	33.4
29年3月期	17,963	5,404	30.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,872百万円 29年3月期 5,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年3月期	—	10.00	—		
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	1.7	1,000	23.0	990	28.2	660	25.4	135.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	5,155,600株	29年3月期	5,155,600株
② 期末自己株式数	284,690株	29年3月期	284,630株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4,870,960株	29年3月期3Q	4,870,970株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などから、引き続き緩やかな景気回復基調で推移する一方、賃金の伸び悩みや地政学的リスクなど不確実性が潜在的に存在しています。

当社グループが属する小売業界におきましては、個人消費は緩やかに持ち直しの兆しはあるものの、将来不安からくる日常消費への生活防衛意識は依然として根強く、引き続き予断を許さない経営環境で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、本年度は「2015年度～2017年度 中期経営計画」の最終年度として、靴・履物販売数量ナンバーワンを目指す靴総合販売会社への地歩を固めるべく、安く作り・安く売る体制の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高136億82百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益9億17百万円（前年同期比15.7%増）、経常利益9億16百万円（前年同期比22.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億25百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

当社グループの報告セグメントの当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、春夏・秋冬シーズン初めのテレビCM広告、延べ17千箇所のスーパー等にカタログを無料設置する他、100円均一ショップのレジ袋へのチラシ650万部の封入およびWEBを通じた顧客接点の拡大等の販売促進策を講じました。また、商品面では10月中旬以降の気温低下により、第3四半期には防寒関連商品が受注を牽引しましたが、第1・2四半期における受注減を補うまでには至りませんでした。

この結果、売上高は72億1百万円（前年同期比1.5%減）となりました。利益面は、為替要因等により売上総利益率が改善し、セグメント利益（営業利益）は10億26百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、来店客数・買い上げ点数のアップおよびPB商品売上増加を図ったイベントの開催、長期催事を織り交ぜた出張販売等を継続して実施した結果、靴およびPB商品の売上は増加したものの、競合の激しい食品・日用雑貨の売上減が影響し前年売上高の確保に至りませんでした。

この結果、売上高は60億42百万円（前年同期比2.5%減）となりました。利益面では、PB商品の売上構成比のアップによる売上総利益率の改善および販売費及び一般管理費が減少し、セグメント利益（営業利益）は1億25百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、大口OEM先に対する新商品の受注が伸び悩んだ結果、売上高は4億38百万円（前年同期比24.7%減）、セグメント利益（営業利益）は53百万円（前年同期比44.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億97百万円減少し、111億56百万円となりました。これは、現金及び預金が10億21百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が4億78百万円、商品が6億82百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少し、64億19百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億34百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ3億88百万円減少し、175億75百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円減少し、43億74百万円となりました。これは、その他流動負債が1億49百万円、未払法人税等が71百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ5億49百万円減少し、73億28百万円となりました。これは、長期借入金が4億92百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億56百万円減少し、117億2百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億67百万円増加し、58億72百万円となりました。これは、利益剰余金が5億18百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.3ポイント上昇し、33.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ5億20百万円増加し、33億35百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、17億27百万円(前年同四半期は8億80百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9億16百万円の計上、売上債権が4億78百万円、たな卸資産が6億21百万円減少したことと、法人税等の支払額3億12百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億36百万円(前年同四半期は10億10百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出29億円、定期預金の払戻による収入24億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億70百万円(前年同四半期は6億75百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入14億円、長期借入金の返済による支出19億10百万円、配当金の支払額1億6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、平成29年11月7日の決算短信にて発表しました平成30年3月期の業績予想を見直した結果、当該四半期において平成30年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,115,582	7,137,183
受取手形及び売掛金	1,176,011	697,063
商品	3,673,013	2,990,363
未着商品	57,379	118,940
貯蔵品	16,174	15,893
繰延税金資産	63,150	49,024
その他	269,272	166,002
貸倒引当金	△17,046	△18,244
流動資産合計	11,353,538	11,156,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,878,606	2,744,383
土地	3,157,566	3,157,566
その他(純額)	229,616	190,166
有形固定資産合計	6,265,789	6,092,116
無形固定資産	169,080	145,458
投資その他の資産	175,471	181,790
固定資産合計	6,610,341	6,419,365
資産合計	17,963,880	17,575,593
負債の部		
流動負債		
買掛金	899,621	899,537
1年内返済予定の長期借入金	2,370,270	2,352,786
未払法人税等	211,631	140,462
賞与引当金	143,523	79,158
役員賞与引当金	-	7,853
ポイント引当金	43,467	31,892
その他	1,012,171	862,606
流動負債合計	4,680,685	4,374,297
固定負債		
長期借入金	7,422,687	6,930,156
退職給付に係る負債	147,283	152,130
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	32,059	32,495
その他	262,651	200,037
固定負債合計	7,878,250	7,328,387
負債合計	12,558,935	11,702,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,797,377	4,316,046
自己株式	△151,003	△151,075
株主資本合計	5,245,816	5,764,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,273	14,433
繰延ヘッジ損益	129,143	75,187
為替換算調整勘定	18,711	18,875
その他の包括利益累計額合計	159,128	108,496
純資産合計	5,404,944	5,872,908
負債純資産合計	17,963,880	17,575,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,091,606	13,682,162
売上原価	7,990,203	7,486,381
売上総利益	6,101,403	6,195,781
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,652,690	1,708,142
貸倒引当金繰入額	12,393	15,579
ポイント引当金繰入額	80,875	30,733
給料手当及び賞与	1,471,776	1,432,546
賞与引当金繰入額	78,813	79,158
その他	2,011,756	2,012,271
販売費及び一般管理費合計	5,308,305	5,278,431
営業利益	793,098	917,350
営業外収益		
受取利息	4,017	3,347
受取配当金	1,350	1,429
デリバティブ評価益	31,418	23,317
受取補償金	4,046	22,707
その他	15,768	23,887
営業外収益合計	56,602	74,688
営業外費用		
支払利息	77,770	68,665
その他	21,353	6,754
営業外費用合計	99,124	75,419
経常利益	750,576	916,619
税金等調整前四半期純利益	750,576	916,619
法人税、住民税及び事業税	232,879	256,709
法人税等調整額	8,400	34,079
法人税等合計	241,279	290,789
四半期純利益	509,297	625,830
親会社株主に帰属する四半期純利益	509,297	625,830

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	509,297	625,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,847	3,160
繰延ヘッジ損益	341,523	△53,955
為替換算調整勘定	△4,726	163
その他の包括利益合計	347,644	△50,632
四半期包括利益	856,941	575,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	856,941	575,197
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	750,576	916,619
減価償却費	248,712	239,270
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,206	△13,524
賞与引当金の増減額(△は減少)	△63,010	△64,365
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,285	7,853
ポイント引当金の増減額(△は減少)	13,351	△11,574
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,893	4,846
受取利息及び受取配当金	△5,367	△4,776
支払利息	77,770	68,665
為替差損益(△は益)	△1,474	81
売上債権の増減額(△は増加)	311,996	478,922
たな卸資産の増減額(△は増加)	△144,644	621,369
仕入債務の増減額(△は減少)	121,847	△146
その他	△237,705	△140,845
小計	1,084,023	2,102,397
利息及び配当金の受取額	5,458	5,549
利息の支払額	△76,664	△67,769
法人税等の支払額	△132,240	△312,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	880,577	1,727,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,300,700	△2,900,900
定期預金の払戻による収入	4,403,400	2,400,000
有形固定資産の取得による支出	△26,201	△20,765
無形固定資産の取得による支出	△84,703	△12,958
投資有価証券の取得による支出	△2,244	△2,036
投資有価証券の売却による収入	1,819	-
その他	△1,739	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,010,369	△536,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,750,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,922,404	△1,910,015
自己株式の取得による支出	-	△72
配当金の支払額	△97,175	△106,552
その他	△55,394	△54,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	675,025	△670,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,273	155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	542,959	520,701
現金及び現金同等物の期首残高	2,302,735	2,814,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,845,695	3,335,583

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,314,137	6,195,187	582,281	14,091,606	—	14,091,606
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,314,137	6,195,187	582,281	14,091,606	—	14,091,606
セグメント利益	870,208	108,170	95,609	1,073,988	△280,890	793,098

(注)1 セグメント利益の調整額△280,890千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,201,078	6,042,491	438,592	13,682,162	—	13,682,162
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,201,078	6,042,491	438,592	13,682,162	—	13,682,162
セグメント利益	1,026,887	125,899	53,027	1,205,814	△288,464	917,350

(注)1 セグメント利益の調整額△288,464千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。